

第 年 月 日

事業移送通知書
(開示請求・訂正請求)

様

東京都人事委員会 印

年 月 日付けであった開示請求又は訂正請求について、東京都特定個人情報
の保護に関する条例第34条第1項又は第39条第1項の規定により、次のとおり事業を移送
したので通知します。

1 保有特定個人情報の件名	
2 事務担当課	局 (室) 部 (所) 課
	電話 内線
3 移送を受けた実施機関 における事務担当組織	電話 内線
4 移送をした日	
5 移送をした理由	
6 備考	

注 本件開示請求については、移送を受けた実施機関において開示決定等を行うこととなり
ます。
不明な点は、事務担当課にお問い合わせください。

(日本工業規格A列4番)

保有特定個人情報利用停止請求書

第 年 月 日

東京都人事委員会 殿

住所又は居所
請求者 氏 名
電 話 番 号

東京都特定個人情報の保護に関する条例第42条第1項の規定に基づき、次のとおり請求します。

1 開示された保有特定個人情報の内容	
2 利用停止請求の趣旨 (該当するものを○で囲んでください)	(1) 利用の停止 (2) 消去 (3) 提供の停止
3 利用停止を求める理由	

※担当課処理欄	請求者の欄	
	請求者確認欄	
	請求資格確認欄	

注 1 「開示された保有特定個人情報の内容」欄は、請求をしようとする保有特定個人情報
特定できるよう具体的に記入してください。
2 法定代理人又は任意代理人による請求の場合は、請求者であることを証明する書類に
加え、資格を有することを証明する書類を提出し、又は提示してください。
3 開示の決定を受けたことの確認に必要な場合は、保有特定個人情報開示決定通知書又は
保有特定個人情報一部開示決定通知書の提示を求めることがあります。
4 ※印欄は、記入しないでください。


(日本工業規格A列4番)

第18号様式 (第14条関係)

第 年 月 日 号

保有特定個人情報利用停止決定通知書

様

東京都人事委員会 

年 月 日付けの保有特定個人情報の利用停止請求に対して、東京都特定個人情報保護の保護に関する条例第44条第1項の規定により、次のとおり利用停止をすることを決定したので通知します。

1 開示された保有特定個人情報内容	
2 利用停止の内容	
3 利用停止年月日	年 月 日
4 担当課	
5 備考	電話番号

注1 この決定に不服がある場合には、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に、東京都人事委員会に対して異議申立てをすることができます(なお、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内であっても、この決定の日の翌日から起算して1年を経過すると異議申立てをすることができなくなります。)。この決定については、この決定があったことを知った日の翌日から起算して6月以内に、東京都を被告として(訴訟において東京都を代表する者は東京都人事委員会となります。)、処分の取消しの訴えを提起することができます(なお、この決定があったことを知った日の翌日から起算して6月以内であっても、この決定の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。)。ただし、上記1の異議申立てをした場合には、当該異議申立てに対する決定があったことを知った日の翌日から起算して6月以内に、処分の取消しの訴えを提起することができます。


(日本工業規格A列4番)

第19号様式 (第14条関係)

第 年 月 日 号

保有特定個人情報利用非停止決定通知書

様

東京都人事委員会 

年 月 日付けの保有特定個人情報の利用停止請求に対して、東京都特定個人情報保護の保護に関する条例第44条第1項の規定により、次のとおり利用停止をしないことを決定したので通知します。

1 請求に係る保有特定個人情報内容	
2 利用停止をしない理由	
3 担当課	
4 備考	電話番号

注1 この決定に不服がある場合には、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に、東京都人事委員会に対して異議申立てをすることができます(なお、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内であっても、この決定の日の翌日から起算して1年を経過すると異議申立てをすることができなくなります。)。この決定については、この決定があったことを知った日の翌日から起算して6月以内に、東京都を被告として(訴訟において東京都を代表する者は東京都人事委員会となります。)、処分の取消しの訴えを提起することができます(なお、この決定があったことを知った日の翌日から起算して6月以内であっても、この決定の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。)。ただし、上記1の異議申立てをした場合には、当該異議申立てに対する決定があったことを知った日の翌日から起算して6月以内に、処分の取消しの訴えを提起することができます。

(日本工業規格A列4番)

第 年 月 日 号

決定期間延長通知書
(保有特定個人情報利用停止請求)
様

東京都人事委員会



年 月 日 付けの保有特定個人情報情報の利用停止請求に対して、東京都特定個人情報情報の保護に関する条例第44条第5項において準用する同条例第28条第3項の規定により、次のとおり利用停止決定の期間を延長したので通知します。

1 請求に係る保有特定個人情報内容	
2 東京都特定個人情報情報の保護に関する条例第44条第1項の規定による決定期間	年 月 日から 年 月 日まで
3 延長後の決定期間	年 月 日から 年 月 日まで
4 延長理由	
5 担当課	
6 備考	電話番号

(日本工業規格A列4番)

第 年 月 日 号

審査会 諮問 通知 書
様

東京都人事委員会



年 月 日 付けの不服申立てについて、東京都特定個人情報情報の保護に関する条例第47条において準用する東京都個人情報保護審査会に諮問したので通知します。

1 不服申立てに係る決定及びその内容	
2 不服申立ての内容	
3 諮問をした日	年 月 日
4 担当課	
5 備考	電話番号

(日本工業規格A列4番)

第22号様式 (第16条関係)

審査会提出資料等閲覧・複写請求書

年 月 日

東京都人事委員会 殿

氏 名 _____

郵便番号 _____

請求者 住所又は居所 _____

電 話 _____

〔法人その他の団体の担当者その他
事務所又は事業所の所在地及び代表者の氏名〕

連絡先 氏 名 _____

電 話 _____

〔法人その他の団体の担当者その他
連絡可能な方を記載してください。〕

東京都特定個人情報の保護に関する条例第47条において準用する東京都個人情報の保護に関する条例第28条の5第1項の規定に基づき、次のとおり東京都個人情報保護審査会に提出された意見書又は資料の閲覧・複写を請求します。

1 請求する意見書又は資料の件名又は内容	
2 閲覧・複写の区分 (1) から (3) までのうち、該当するものを一つ〇で開んでください。 (い)	(1) 閲覧 (2) 複写 (3) 閲覧した後に必要なものだけ複写

(日本工業規格 A 列 4 番)

第23号様式 (第16条関係)

第 年 月 日 号

審査会提出資料等閲覧・複写承諾通知書

様

東京都人事委員会 印

年 月 日付けであった審査会提出資料等閲覧・複写請求に対して、次のとおり承諾することとしたので通知します。

1 審査会提出資料等の件名又は内容										
2 閲覧又は複写の日時及び場所	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">日 時</td> <td style="width: 30%;">年 月 日</td> <td style="width: 40%;">午前 午後</td> </tr> <tr> <td>時 分</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">場 所</td> </tr> </table>	日 時	年 月 日	午前 午後	時 分			場 所		
日 時	年 月 日	午前 午後								
時 分										
場 所										
3 担当課	電話番号									
4 備考										

(日本工業規格 A 列 4 番)

第24号様式（第16条関係）

第 年 月 日

審査会提出資料等閲覧・複写一部承諾通知書
様

東京都人事委員会 印

年 月 日付けであった審査会提出資料等閲覧・複写請求に対して、次のとおり一部承諾することとしたので通知します。

1 審査会提出資料等の 件名又は内容			
2 閲覧・複写を一部拒否 する理由			
3 閲覧又は複写の日時 及び場所	日時	年 月 日	午前 時 分 午後
	場所		
4 担当課	電話番号		
5 備考			

注1 この決定に不服がある場合には、この決定があつたことを知つた日の翌日から起算して60日以内に、東京都人事委員会に対して異議申立てをすることができます（なお、この決定があつたことを知つた日の翌日から起算して60日以内であっても、この決定の日の翌日から起算して1年を経過すると異議申立てをすることができなくなります。）。

2 この決定については、（訴訟において東京都を代表する者は東京都人事委員会となり、東京都を被告として（訴訟において東京都を代表する者は東京都人事委員会となり、処分の取消しの訴えを提起することができます（なお、この決定があつたことを知つた日の翌日から起算して6月以内であっても、この決定の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。））。ただし、上記1の異議申立てをした場合には、当該異議申立てに対する決定があつたことを知つた日の翌日から起算して6月以内に、処分の取消しの訴えを提起することができます。

（日本工業規格A列4番）

第25号様式（第16条関係）

第 年 月 日

審査会提出資料等閲覧・複写拒否通知書
様

東京都人事委員会 印

年 月 日付けであった審査会提出資料等閲覧・複写請求に対して、次のとおり拒否することとしたので通知します。

1 審査会提出資料等の 件名又は内容			
2 閲覧・複写を拒否する 理由			
3 担当課	電話番号		
4 備考			

注1 この決定に不服がある場合には、この決定があつたことを知つた日の翌日から起算して60日以内に、東京都人事委員会に対して異議申立てをすることができます（なお、この決定があつたことを知つた日の翌日から起算して60日以内であっても、この決定の日の翌日から起算して1年を経過すると異議申立てをすることができなくなります。）。

2 この決定については、（訴訟において東京都を代表する者は東京都人事委員会となり、東京都を被告として（訴訟において東京都を代表する者は東京都人事委員会となり、処分の取消しの訴えを提起することができます（なお、この決定があつたことを知つた日の翌日から起算して6月以内であっても、この決定の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。））。ただし、上記1の異議申立てをした場合には、当該異議申立てに対する決定があつたことを知つた日の翌日から起算して6月以内に、処分の取消しの訴えを提起することができます。

（日本工業規格A列4番）

告 示 (監)

●東京都監査委員告示第二号

東京都監査委員が保有する特定個人情報の保護に関する規程を次のように定める。
平成二十七年十二月二十四日

- 東京都監査委員 山 加 朱 美
- 東京都監査委員 吉 倉 正 美
- 東京都監査委員 友 渕 宗 治
- 東京都監査委員 筆 谷 勇
- 東京都監査委員 岩 田 喜美枝

(趣旨) 東京都監査委員が保有する特定個人情報の保護に関する規程

第一条 この規程は、東京都特定個人情報の保護に関する条例(平成二十七年東京都条例第四百十一号。以下「条例」という。)における東京都監査委員(以下「監査委員」という。)が保有する特定個人情報の保護に関し、必要な事項を定めるものとする。

(開示請求書の提出)

第二条 条例第二十七条第一項の規定に基づき開示請求をしようとする者は、保有特定個人情報開示請求書(別記第一号様式)を監査委員に提出しなければならない。

(開示請求者の確認)

第三条 条例第二十七条第二項に規定する開示請求に係る保有特定個人情報の本人の個人番号が記載されている書類は、次の各号のいずれかに掲げる書類とする。

- 一 個人番号カード
 - 二 通知カード
 - 三 住民基本台帳法(昭和四十二年法律第八十一号)に規定する住民票の写し又は住民票記載事項証明書であつて、氏名、出生の年月日、男女の別、住所及び個人番号が記載されたもの
- 2 条例第二十七条第二項及び第二十九条第一項に規定する開示請求に係る保有特定個

人情報の本人であることを証明するために必要な書類は、次の各号のいずれかに掲げる書類とする。

一 個人番号カード

二 運転免許証、運転経歴証明書(交付年月日が平成二十四年四月一日以降のものに限る。)、旅券、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、在留カード、特別永住者証明書又は官公署から発行若しくは発給されたその他の書類若しくはこれに類する書類であつて、氏名及び出生の年月日若しくは住所(以下「個人識別事項」という。)が記載され、かつ写真の表示その他の当該書類に施された措置によつて、当該書類の提示を行う者が当該個人識別事項により識別される特定の個人と同一の者であることを確認することができるものとして監査委員が適当と認めらるもののうちからいずれか一つ

三 国民健康保険、健康保険、船員保険、後期高齢者医療若しくは介護保険の被保険者証、健康保険日雇特例被保険者手帳、国家公務員共済組合若しくは地方公務員共済組合の組合員証、私立学校教職員共済制度の加入者証、国民年金手帳、児童扶養手当証書、特別児童扶養手当証書又は官公署、個人番号利用事務実施者若しくは個人番号関係事務実施者から発行若しくは発給されたその他の書類若しくはこれに類する書類であつて監査委員が適当と認めるもの(個人識別事項の記載があるものに限る。)(のうちからいずれか二つ

3 条例第二十七条第二項及び第二十九条第一項に規定する開示請求に係る保有特定個人

人情報の本人の法定代理人又は任意代理人であることを証明するために必要な書類は、次の各号のいずれかに掲げる書類及び法定代理人又は任意代理人に係る前項の書類(法定代理人又は任意代理人が法人であるときは、登記事項証明書その他の官公署から発行又は発給された書類及び現に当該法人を代表して開示請求をしようとする者と当該法人との関係を証する書類その他の書類であつて監査委員が適当と認める書類(当該法人の商号又は名称及び本店又は主たる事務所の所在地の記載があるものに限る。))とする。

一 本人の代理人として開示請求をする者が法定代理人である場合には、戸籍謄本その他の資格を証明することができる書類として、監査委員が認める書類

二 本人の代理人として開示請求をする者が任意代理人である場合には、本人の委任状（別記第二号様式）

（開示決定通知書等）

第四条 条例第二十八条第二項に規定する書面は、次の表の上欄に掲げる場合につき、同表下欄に掲げる通知書とする。

一 条例第二十八条第一項の規定により保有特定個人情報全部を開示する場合	保有特定個人情報開示決定通知書（別記第三号様式）
二 条例第二十八条第一項の規定により保有特定個人情報の一部を開示する場合	保有特定個人情報一部開示決定通知書（別記第四号様式）
三 条例第二十八条第一項の規定により保有特定個人情報全部を開示しない旨の決定（条例第三十三条の規定により開示請求を拒否するとき及び開示請求に係る保有特定個人情報保有していないときの当該決定を含む。）をした場合	保有特定個人情報非開示決定通知書（別記第五号様式）

2 条例第二十八条第三項に規定する書面は、決定期間延長通知書（保有特定個人情報開示請求）（別記第六号様式）とする。

3 条例第二十八条第六項に規定する実施機関が定める事項は、当該公文書の作成年月日、当該開示請求者以外のものに係る情報の内容その他必要な事項とする。

4 監査委員は、条例第二十八条第六項の規定により開示請求者以外のものに意見書を提出する機会を与える場合は、意見照会書（別記第七号様式）により通知するものとする。

5 監査委員は、条例第二十八条第七項に規定する反対意見書が提出された場合において、当該反対意見書に係る保有特定個人情報の全部又は一部を開示する旨の決定（以下「開示決定」という。）をしたときは、直ちに開示決定に係る通知書（別記第八号様式）により反対意見書を提出したものに通知するものとする。

（電磁的記録に記録された保有特定個人情報の開示方法）

第五条 条例第二十九条第二項の規定により、電磁的記録（ビデオテープ及び録音テープを除く。以下この項において同じ。）に記録された保有特定個人情報の開示は、電磁的記録に記録された当該保有特定個人情報に係る部分を印刷物として出力したものの

の閲覧又は交付により行う。

2 前項の規定にかかわらず、電磁的記録に記録された当該保有特定個人情報に係る部分をディスプレイ等映像又は音声の出力装置に出力したものの視聴又はフロッピーディスク、光ディスクその他の電磁的記録媒体に複写したものの交付が容易であるときは、電磁的記録に記録された当該保有特定個人情報の視聴又は当該複写したものの交付により開示を行うことができる。

（開示の実施等）

第六条 保有特定個人情報の開示を写しの交付の方法により受ける者は、保有特定個人情報の開示（写しの交付）申込書（別記第九号様式）を提出しなければならない。

2 保有特定個人情報の開示を行う場合において、写しを交付するときの交付部数は、請求があつた保有特定個人情報記録された公文書一件につき一部とする。

3 監査委員は、保有特定個人情報記録された公文書の閲覧又は視聴を受ける者が当該閲覧又は視聴に係る保有特定個人情報記録された公文書を汚損し、若しくは破損し、又はその内容を損傷するおそれがあると認めるときは、当該保有特定個人情報記録された公文書の閲覧又は視聴の中止を命ずることができる。

（未成年者又は本人の確認書の提出）

第七条 監査委員は、未成年者の法定代理人による開示請求がなされた場合であつて、当該未成年者が満十五歳に達しているときは、開示することが条例第三十条第八号に規定する事項に該当するかどうかを判断するために、当該未成年者に開示についての確認書（別記第十号様式）の提出を求めることができる。

2 監査委員は、任意代理人による開示請求がなされた場合は、当該開示請求の対象となる保有特定個人情報の内容が、本人による代理権の授権の範囲と合致するかどうかを判断するために、当該本人に対し、開示についての確認書（別記第十一号様式）の提出を求めなければならない。

（訂正請求書の提出）

第八条 条例第三十六条第一項の規定に基づき訂正請求をしようとする者は、保有特定個人情報訂正請求書（別記第十二号様式）を監査委員に提出しなければならない。（訂正請求者の確認等）

第九条 条例第三十六条第三項において準用する条例第二十七条第二項に規定する書類については、第三条第二項及び第三項の規定を準用する。

2 監査委員は、訂正請求に係る保有特定個人情報が開示の決定を受けたものであることを確認する必要があると認めるときは、訂正請求をしようとする者に対し、保有特定個人情報開示決定通知書又は保有特定個人情報一部開示決定通知書の提示を求めることができる。

(訂正決定通知書等)

第十条 条例第三十八条第二項に規定する書面は、保有特定個人情報訂正決定通知書

(別記第十三号様式)とする。

2 条例第三十八条第三項に規定する書面は、保有特定個人情報非訂正決定通知書(別記第十四号様式)とする。

3 条例第三十八条第五項において準用する条例第二十八条第三項に規定する書面は、決定期間延長通知書(保有特定個人情報訂正請求)(別記第十五号様式)とする。

(事案移送通知書)

第十一条 監査委員は、条例第三十四条第一項又は第三十九条第一項の規定により事案を移送した場合は、事案移送通知書(開示請求・訂正請求)(別記第十六号様式)により開示請求者又は訂正請求者に通知するものとする。

(利用停止請求書の提出)

第十二条 条例第四十二条第一項の規定に基づき利用停止請求をしようとする者は、保有特定個人情報利用停止請求書(別記第十七号様式)を監査委員に提出しなければならない。

(利用停止請求者の確認等)

第十三条 条例第四十二条第二項において準用する条例第二十七条第二項に規定する書類については、第三条第二項及び第三項の規定を準用する。

2 監査委員は、利用停止請求に係る保有特定個人情報が開示の決定を受けたものであることを確認する必要があると認めるときは、利用停止請求をしようとする者に対し、保有特定個人情報開示決定通知書又は保有特定個人情報一部開示決定通知書の提示を求めることができる。

(利用停止決定通知書等)

第十四条 条例第四十四条第二項に規定する書面は、保有特定個人情報利用停止決定通知書(別記第十八号様式)とする。

2 条例第四十四条第三項に規定する書面は、保有特定個人情報利用非停止決定通知書(別記第十九号様式)とする。

3 条例第四十四条第五項において準用する条例第二十八条第三項に規定する書面は、決定期間延長通知書(保有特定個人情報利用停止請求)(別記第二十号様式)とする。

(審査会に諮問した旨の通知)

第十五条 監査委員は、条例第四十七条において準用する東京都個人情報の保護に関する条例(平成二年東京都条例第百十三号。以下「個人情報保護条例」という。)第二十四条の三の規定により通知する場合は、審査会諮問通知書(別記第二十一号様式)によって行うものとする。

(審査会への提出資料等の閲覧等)

第十六条 条例第四十七条において準用する個人情報保護条例第二十五条の五第一項の規定に基づき、個人情報保護条例第二十五条に規定する東京都個人情報保護審査会に提出された意見書又は資料の閲覧又は複写を請求しようとする者は、審査会提出資料等閲覧・複写請求書(別記第二十二号様式)を監査委員に提出しなければならない。

2 監査委員は、前項の規定により審査会提出資料等閲覧・複写請求書が提出されたときは、速やかに当該閲覧又は複写の可否を決定し、審査会提出資料等閲覧・複写承諾通知書(別記第二十三号様式)、審査会提出資料等閲覧・複写一部承諾通知書(別記第二十四号様式)又は審査会提出資料等閲覧・複写拒否通知書(別記第二十五号様式)により、当該閲覧・複写請求書を提出した者に通知するものとする。

附則

この規程は、平成二十八年一月一日から施行する。

保有特定個人情報開示請求書

年 月 日

東京都監査委員 殿

住所又は居所

請求者 氏 名

電 話 番 号

東京都特定個人情報情報の保護に関する条例第27条第1項の規定に基づき、次のとおり請求
します。

1 請求に係る保有特定個人情報 の本人の個人番号										
2 請求に係る保有特 定個人情報の内容										
3 開示の区分 (希望 する開示方法を○で 囲んでください。)	(1) 閲覧	(2) 複製	(3) 写しの交付							
4 法定代 理人又は 任意代理 人による 開示請求 の場合の 本人の氏 名等	本人の氏名	本人の住所 又は居所 及び電話番号	本人の状況	右のうち該当する ものを○で囲んで ください。						
	(1) 未成年者 (15歳未満)	(2) 未成年者 (満15歳以上)	(3) 成年被後見人	(4) 委任者						
※担当課処理 欄			本人の個人番号確認欄							
請求者 本人確認 欄										
請求資格 確認欄										
※備 考										

- 注 1 「請求に係る保有特定個人情報」欄は、開示請求をしようとする保有特定個人情報
が特定できるよう具体的に記入してください。
- 注 2 法定代理人又は任意代理人による請求の場合は、請求者であることを証明する書類に加
え、資格を有することを証明する書類を提出し、又は提示してください。
- 注 3 「本人の住所又は居所及び電話番号」欄には、本人の連絡先が本人の住所又は居所及び電
話番号と異なるときは、連絡先も併せて記入してください。
- 注 4 ※印欄は、記入しないでください。

(日本工業規格A列4番)

保有特定個人情報開示請求委任状

年 月 日

東京都監査委員 殿

(代理人)

住所又は居所

氏名

私は、東京都特定個人情報情報の保護に関する条例第26条第2項に基づき、上記の者を代理人と定
め、以下の表の内容に係る保有特定個人情報に関して、同条例第1項に規定する開示請求を行う権
限を委任します。

請求に係る 保有特定個人情報 の内容	
備 考	

(委任者)

住所又は居所

氏名

印

電話番号

※ 全ての項目は、必ず委任者本人が記入のこと。

(日本工業規格A列4番)

第3号様式 (第4条関係)

第 年 月 日 号

保有特定個人情報開示決定通知書

様

東京都監査委員 印

年 月 日付けの保有特定個人情報開示請求に対して、東京都特定個人情報の保護に関する条例第28条第1項の規定により、次のとおり保有特定個人情報の全部を開示することを決定したので通知します。

1 請求に係る保有特定個人情報の内容	日時	年 月 日	午前 午後	時 分
	場所			
2 保有特定個人情報の開示の日時及び場所				
3 担当課				
4 備考	電話番号			

注1 当日は、この通知書と請求者本人であることを証明する書類を持参してください。
 注2 上記の日時においではなれない場合は、事前に電話等で担当課まで連絡してください。

(日本工業規格A列4番)

第4号様式 (第4条関係)

第 年 月 日 号

保有特定個人情報一部開示決定通知書

様

東京都監査委員 印

年 月 日付けの保有特定個人情報の開示請求に対して、東京都特定個人情報の保護に関する条例第28条第1項の規定により、次のとおり保有特定個人情報の一部を開示することを決定したので通知します。

1 請求に係る保有特定個人情報の内容	日時	年 月 日	午前 午後	時 分
	場所			
2 保有特定個人情報の開示の日時及び場所				
3 開示しない部分及びその理由	(東京都特定個人情報の保護に関する条例第30条第 号に該当)			
4 担当課				
5 備考	電話番号			

注1 当日は、この通知書と請求者本人であることを証明する書類を持参してください。
 注2 上記の日時においではなれない場合は、事前に電話等で担当課まで連絡してください。
 注3 この決定に不服がある場合には、この決定があった日の翌日から起算して60日以内に、東京都監査委員に対して異議申立てをすることができます。(なお、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内であっても、この決定の日の翌日から起算して1年を経過すると異議申立てをすることができなくなります。)
 注4 東京都を被告として(訴訟において東京都を代表する者は東京都監査委員となります。)、処分の取消しの訴えを提起することができます。(なお、この決定があったことを知った日の翌日から起算して6月以内であること、この決定の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。)。ただし、上記3の異議申立てをした場合には、当該異議申立てに対する決定があったことを知った日の翌日から起算して6月以内に、処分の取消しの訴えを提起することができます。

(日本工業規格A列4番)

第7号様式 (第4条関係)

号 日 月 年
意見照会書

様

東京都監査委員

印

東京都特定個人情報保護の保護に関する条例に基づき、次のとおり_____に関する情報が含まれた保有特定個人情報について開示請求がありました。
本件開示請求に係る保有特定個人情報の開示決定等について御意見があれば、別紙「開示決定等に係る意見書」により、_____年__月__日までにお返しください。

1 開示請求に係る保有特定個人情報記録された公文書の件名及び作成年月日	
2 _____に関する情報の内容	
3 担当課及び意見書提出先	電話番号
4 備考	

(日本工業規格A列4番)

別紙

開示決定等に係る意見書

年 月 日

東京都監査委員 殿

住所又は居所
氏 名

〔 法人その他の団体にあつては、その名称、事務所又は事業所の所在地及び代表者の氏名 〕

_____年__月__日付 _____号で照会のおつた件について、次のとおりお返します。

1 開示請求に係る保有特定個人情報記録された公文書の件名	
2 開示決定に対する反対意思の有無	有 無
3 意見 (開示決定に反対する理由)	

(日本工業規格A列4番)

第10号様式 (第7条関係)

第 年 月 日

様

東京都監査委員



以下の確認書は、別紙保有特定個人情報開示請求書の写しのとおり、
付けであなたの法定代理人である 様から請求があったあなたを本人とする
保有特定個人情報の開示について、あなた自身の意思を確認するものです。御自身で「同意する」
「同意しない」のいずれかを○で囲んで、住所又は居所及び氏名を御記入の上、
月 日 までに返送してください。
なお、開示に同意された場合であっても、東京都特定個人情報の保護に関する条例第30条の規定
により非開示となる場合があります。

確 認 書

私の法定代理人 _____ が私に代わって別紙保有特定個人情報開示請求書の写しの
とおり請求した私を本人とする保有特定個人情報について、私の法定代理人 _____ へ
開示することに

- 1 同意する。
- 2 同意しない。

(「同意する」「同意しない」のいずれかを御自身で○で囲んでください。)

年 月 日

住所又は居所

氏 名

(氏名は、必ず御自身で書いてください。)

(日本工業規格A列4番)

第11号様式 (第7条関係)

第 年 月 日

様

東京都監査委員



別紙保有特定個人情報開示請求書の写しのとおり、
代理人である _____ 様から請求があったあなたを本人とする保有特定個人情報是以
下の内容となります。

請求に係る
保有特定個人
情報の内容

以下の確認書は、上記の保有特定個人情報の開示について、あなた自身の意思を確認するもので
す。御自身で「同意する」「同意しない」のいずれかを○で囲んで、住所又は居所及び氏名を御記
入の上、
年 月 日 までに返送してください。
なお、開示に同意された場合であっても、東京都特定個人情報の保護に関する条例第30条の規定
により非開示となる場合があります。

確 認 書

私の任意代理人 _____ が私に代わって別紙保有特定個人情報開示請求書の写しのと
おり請求した私を本人とする保有特定個人情報について、私の任意代理人 _____ へ開示
することに

- 1 同意する。
- 2 同意しない。

(「同意する」「同意しない」のいずれかを御自身で○で囲んでください。)

年 月 日

住所又は居所

氏 名

(氏名は、必ず御自身で書いてください。)

(日本工業規格A列4番)

保有特定個人情報訂正請求書

年 月 日

東京都監査委員 殿

住所又は居所
請求者 氏 名
電 話 番 号

東京都特定個人情報保護に関する条例第36条第1項の規定に基づき、次のとおり請求
します。

1 開示された保有特定個人情報の内容	
2 訂正を求める内容	
※担当者確認欄	請求者の 請求資格確認欄
※担当課処理欄	事実合致することを証明する書類等
※備考	

- 注1 訂正を求める内容が事実合致することを証明する書類等提出し、又は提示してください。
- 法定代理人又は任意代理人による請求の場合は、請求者であることを証明する書類に加い。
 - 資格を有することを証明する書類を提出し、又は提示してください。
 - 開示の決定を受けたことの確認に必要な場合は、保有特定個人情報開示決定通知書又は保有特定個人情報一部開示決定通知書の提示を求められます。
 - ※印欄は、記入しないでください。

(日本工業規格A列4番)

保有特定個人情報訂正決定通知書

第 年 月 日 号

様

東京都監査委員

印

年 月 日付けの保有特定個人情報の訂正請求に対して、東京都特定個人情報の保護に関する条例第38条第1項の規定により、次のとおり訂正することを決定したので通知します。

1 開示された保有特定個人情報内容	
2 訂正する保有特定個人情報内容	
3 一部訂正とする理由 (-部訂正を行うときのみに記入)	
4 担当課	電話番号
5 備考	

- 注1 この決定に不服がある場合には、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に、東京都監査委員に対し、異議申立てをすることができます。(なお、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内であっても、この決定の日の翌日から起算して1年を経過すると異議申立てをすることができなくなります。)
- 2 この決定については、この決定があったことを知った日の翌日から起算して6月以内に、東京都を被告として(訴訟において東京都を代表する者は東京都監査委員となります。)、処分の取消しの訴えを提起することができます。(なお、この決定があったことを知った日の翌日から起算して6月以内であっても、この決定の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。ただし、上記1の異議申立てをした場合には、当該異議申立てに対する決定があったことを知った日の翌日から起算して6月以内に、処分の取消しの訴えを提起することができます。)

(日本工業規格A列4番)

第14号様式 (第10条関係)

第 年 月 日 号

保有特定個人情報非訂正決定通知書

様

東京都監査委員 印

年 月 日付けの保有特定個人情報訂正請求に対して、東京都特定個人情報の保護に関する条例第38条第1項の規定により、次のとおり訂正しないことを決定したので通知します。

1 請求に係る保有特定個人情報の内容	
2 訂正をしない理由	
3 担当課	
4 備考	電話番号

注1 この決定に不服がある場合には、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に、東京都監査委員に対して異議申立てをすることができます。(なお、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内であっても、この決定の日の翌日から起算して1年を経過すると異議申立てをすることができなくなります。)

2 この決定については、この決定があったことを知った日の翌日から起算して6月以内に、東京都を被告として(訴訟において東京都を代表する者は東京都監査委員となります。)、処分の取消しの訴えを提起することができません(なお、この決定があったことを知った日の翌日から起算して6月以内であっても、この決定の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。)。ただし、上記1の異議申立てをした場合には、当該異議申立てに対する決定があったことを知った日の翌日から起算して6月以内に、処分の取消しの訴えを提起することができます。

(日本工業規格A列4番)

第15号様式 (第10条関係)

第 年 月 日 号

決定期間延長通知書
(保有特定個人情報訂正請求)

様

東京都監査委員 印

年 月 日付けの保有特定個人情報の訂正請求に対して、東京都特定個人情報の保護に関する条例第38条第5項において準用する同条例第28条第3項の規定により、次のとおり訂正決定等の期間を延長したので通知します。

1 請求に係る保有特定個人情報の内容	
2 東京都特定個人情報の保護に関する条例第38条第1項の規定による決定期間	年 月 日から 年 月 日まで
3 延長後の決定期間	年 月 日から 年 月 日まで
4 延長理由	
5 担当課	
6 備考	電話番号

(日本工業規格A列4番)

第 年 月 日 号

事業移送通知書
(開示請求・訂正請求)

様

東京都監査委員

印

年 月 日付けであった開示請求又は訂正請求について、東京都特定個人情報
の保護に関する条例第34条第1項又は第39条第1項の規定により、次のとおり事業を移送
したので通知します。

1 保有特定個人情報 の件名	
2 事務担当課	局 (室) 部 (所) 課 電話 内線
3 移送を受けた実施機 関における事務担当組 織	電話 内線
4 移送をした日	
5 移送をした理由	
6 備 考	

注 本件開示請求については、移送を受けた実施機関において開示決定等を行うこととなり
ます。
不明な点は、事務担当課にお問い合わせください。

(日本工業規格A列4番)

保有特定個人情報利用停止請求書

第 年 月 日

東京都監査委員 殿

住所又は居所
請求者 氏 名
電 話 番 号

東京都特定個人情報保護に関する条例第12条第1項の規定に基づき、次のとおり請求します。

1 開示された保有特 定個人情報の内容	
2 利用停止請求の趣旨 (該当するものを○で囲 んでください)	(1) 利用の停止 (2) 消去 (3) 提供の停止
3 利用停止を求める 理由	

※拒当課処理欄	請求者の欄	
	請求資格確認欄	

※ 備 考

注1 「開示された保有特定個人情報の内容」欄は、請求をしようとする保有特定個人情報
特定できるよう具体的に記入してください。
2 法定代理人又は任意代理人による請求の場合は、請求者であることを証明する書類に加
え、資格を有することを証明する書類を提出し、又は提示してください。
3 開示の決定を受けたことの確認に必要な場合は、保有特定個人情報開示決定通知書又は
保有特定個人情報一部開示決定通知書の提示を求めることがあります。
4 ※印刷欄は、記入しないでください。


(日本工業規格A列4番)

第18号様式 (第14条関係)

第 年 月 日 号

保有特定個人情報利用停止決定通知書

様

東京都監査委員 

年 月 日付けの保有特定個人情報利用停止請求に対して、東京都特定個人情報保護の保護に関する条例第44条第1項の規定により、次のとおり利用停止をすることを決定したので通知します。

1 開示された保有特定個人情報内容	
2 利用停止の内容	
3 利用停止年月日	年 月 日
4 担当課	
5 備考	電話番号

注1 この決定に不服がある場合には、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に、東京都監査委員に対して異議申立てをすることができます。(なお、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内であっても、この決定の日の翌日から起算して1年を経過すると異議申立てをすることができなくなります。)

2 この決定については、(訴訟において東京都を代表する者は東京都監査委員となります。)、処分日の取消しの訴えを提起することができません(なお、この決定があったことを知った日の翌日から起算して6月以内)、処分の取消しの訴えを提起することも、この決定の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しは、当該異議申立てに対する決定があったことを知った日の翌日から起算して6月以内に、処分の取消しの訴えを提起することができます。


(日本工業規格A列4番)

第19号様式 (第14条関係)

第 年 月 日 号

保有特定個人情報利用非停止決定通知書

様

東京都監査委員 

年 月 日付けの保有特定個人情報利用停止請求に対して、東京都特定個人情報保護の保護に関する条例第44条第1項の規定により、次のとおり利用停止をしないことを決定したので通知します。

1 請求に係る保有特定個人情報内容	
2 利用停止をしない理由	
3 担当課	
4 備考	電話番号

注1 この決定に不服がある場合には、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に、東京都監査委員に対して異議申立てをすることができます。(なお、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内であっても、この決定の日の翌日から起算して1年を経過すると異議申立てをすることができなくなります。)


2 この決定については、(訴訟において東京都を代表する者は東京都監査委員となります。)、処分日の取消しの訴えを提起することができません(なお、この決定があったことを知った日の翌日から起算して6月以内)、処分の取消しの訴えを提起することも、この決定の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しは、当該異議申立てに対する決定があったことを知った日の翌日から起算して6月以内に、処分の取消しの訴えを提起することができます。

(日本工業規格A列4番)

第20号様式 (第14条関係)

第 年 月 日 号

決定期間延長通知書
(保有特定個人情報利用停止請求)
様

東京都監査委員 

年 月 日付付けの保有特定個人情報の利用停止請求に対して、東京都特定個人情報の保護に関する条例第44条第5項において適用する同条例第28条第3項の規定により、次のとおり利用停止決定の期間を延長したので通知します。


1 請求に係る保有特定個人情報の内容	
2 東京都特定個人情報の保護に関する条例第44条第1項の規定による決定期間	年 月 日から 年 月 日まで
3 延長後の決定期間	年 月 日から 年 月 日まで
4 延長理由	
5 担当課	電話番号
6 備考	

(日本工業規格A列 4番)

第21号様式 (第15条関係)

第 年 月 日 号

審 査 会 審 問 通 知 書
様

東京都監査委員 

年 月 日付付けの不服申立てについて、東京都特定個人情報の保護に関する条例第47条において適用する東京都個人情報の保護に関する条例第24条の規定により、次のとおり東京都個人情報保護審査会に諮問したので通知します。

1 不服申立てに係る決定及びその内容	
2 不服申立ての内容	
3 諮問をした日	年 月 日
4 担当課	電話番号
5 備考	

(日本工業規格A列 4番)

第22号様式 (第16条関係)

審査会提出資料等閲覧・複写請求書

東京都監査委員 殿

年 月 日

氏名
郵便番号
住所又は居所
請求者 住所又は居所
電話

〔 法人その他の団体の担当者その他
事務所又は事業所の所在地及び代表者の氏名 〕

連絡先 氏名
電話

〔 法人その他の団体の担当者その他
連絡可能な方を記載してください。 〕

東京都特定個人情報の保護に関する条例第47条において準用する東京都個人情報保護の保護に関する条例第25条の5第1項の規定に基づき、次のとおり東京都個人情報保護審査会に提出された意見書又は資料の閲覧・複写を請求します。

1 請求する意見書又は資料の件名又は内容	
2 閲覧・複写の区分 ((1) から (3) までのうち、該当するものを一つ〇で囲んでください。)	(1) 閲覧 (2) 複写 (3) 閲覧した後に必要なものだけ複写

(日本工業規格 A 列 4 番)

第23号様式 (第16条関係)

第 年 月 日

審査会提出資料等閲覧・複写承諾通知書

様

東京都監査委員 印

年 月 日付けであった審査会提出資料等閲覧・複写請求に対して、次のとおり承諾することとしたので通知します。

1 審査会提出資料等の件名又は内容		
2 閲覧又は複写の日時及び場所	日時	午前 時 分
	場所	
3 担当課		
4 備考	電話番号	

(日本工業規格 A 列 4 番)

第 年 月 日 号

審査会提出資料等閲覧・複写一部承諾通知書

様

東京都監査委員

印

年 月 日付けであった審査会提出資料等閲覧・複写請求に対して、次のとおり一部承諾することとしたので通知します。

1 審査会提出資料等の 件名又は内容			
2 閲覧・複写を一部拒否する理由			
3 閲覧又は複写の日時 及び場所	日時	年 月 日	午前 時 分 午後
	場所		
4 担当課	電話番号		
5 備考			

注1 この決定に不服がある場合には、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に、東京都監査委員に対して異議申立てをすることができます。(なお、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内であっても、この決定の日から起算して1年を経過すると異議申立てをすることができなくなります。)

2 この決定については、(訴訟において東京都を代表する者は東京都監査委員となります。)、処分からの取消しの訴えを提起することも、この決定の日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。ただし、上記1の異議申立てをした場合には、当該異議申立てに対する決定があったことを知った日の翌日から起算して6月以内に、処分の取消しの訴えを提起することができます。

(日本工業規格A列4番)

第 年 月 日 号

審査会提出資料等閲覧・複写拒否通知書

様

東京都監査委員

印

年 月 日付けであった審査会提出資料等閲覧・複写請求に対して、次のとおり拒否することとしたので通知します。

1 審査会提出資料等の 件名又は内容			
2 閲覧・複写を拒否する理由			
3 担当課			
4 備考	電話番号		

注1 この決定に不服がある場合には、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に、東京都監査委員に対して異議申立てをすることができます。(なお、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内であっても、この決定の日から起算して1年を経過すると異議申立てをすることができなくなります。)

2 この決定については、(訴訟において東京都を代表する者は東京都監査委員となります。)、処分からの取消しの訴えを提起することも、この決定の日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。ただし、上記1の異議申立てをした場合には、当該異議申立てに対する決定があったことを知った日の翌日から起算して6月以内に、処分の取消しの訴えを提起することができます。

(日本工業規格A列4番)

発行 東京都
東京都新宿区西新宿二丁目八番一号
電話 〇三(五三三二)一〇一一(代)

郵便番号 163-8001

定価

本号 二二〇円
一箇月 六、六〇〇円
(郵送料を含む)

印刷所

勝美印刷株式会社
東京都文京区白山一丁目十三番七号
電話 〇三(三八二二)五二〇一(代)

郵便番号 113-0001

